

DV 被害者支援及びシェルター運営事業

- ① 電話相談 450 件、面接相談 148 件、同行支援 127 件実施した。内部研修を実施し支援の充実を図った。
- ② 国の寄り添いホットラインに参加。月 2 回～3 回、DV・性暴力相談を担当し、合計 503 件。
- ③ シェルターに年間 14 組、大人 14 人、子ども 11 人を保護した。本年度は委託の件数が 1 件、委託以外の保護件数が 13 件であり、利用日数の総計としては 221 日と前年度の約半分になった。シェルター開設（2004 年）以来、保護件数 328 件、大人 336 人、子ども 388 人、委託 199 件、委託外 127 件となった。利用日数 4759 日。委託は減少しているが、14 組の利用があること、相談件数が全国で 10 万件を越している状況で、まだまだ民間シェルターの必要性はあると考えている。他府県からの利用も 4 件あった。
- ④ 県の委託である心のサポート事業として、利用者への心のケアや同行支援、保育、学習支援を実施した。
- ⑤ 神戸市の委託事業で DV 被害者支援者養成講座開催 参加者 26 人。
- ⑥ 兵庫県の委託事業として DV 被害者自立支援講座、参加 17 人、DV 被害者支援ボランティア養成講座参加 25 人、DV 防止出前講座 参加 42 人、を開催できた。今年度も企業向 DV 啓発講座を開催し、近畿労金の神戸支店、コープこうべ生活文化センターと協同学苑（三木市）で職員対象に実施することができた。社会人、特に男性への理解や支援の輪が広がった。

DV・デート DV 防止教育事業

- ① デート DV 防止授業は今年度、県内の大学等での授業は 16 校となった。また、学校独自の実施は高校 2 校、中学校 2 校に留まった。ただ、神戸市、明石市、宝塚市、たつの市、三木市、赤穂市、多可町では地元自治体の費用負担により高校では 12 校で実施できた。中学校においても神戸市、明石市、宝塚市、西宮市、高砂市、加東市、西脇市、小野市の自治体の費用負担により、35 校で実施できた。全体では、他府県（大阪、滋賀、京都）あわせて、15,217 人に実施し、デート DV 防止授業を始めた 2007 年度から 220,000 人を超えた。
- ② 県の委託事業で企業向け DV 防止啓発講座「DV と子どもへの影響」～対等なパートナーシップを築こうを実施。12 月は近畿労金神戸支店の職員に実施、参加者 31 名。1 月には三木市にあるコープこうべの協働学苑にて職員を対象に実施 11 名が参加、2 月にはコープこうべ生活文化センターで職員対象に実施し、16 名が参加。「DV は個人の問題ではなく、被害者が属する会社にとっても経済的損失につながる」との意識をもつべきだ」等の感想を頂けた。3 月には連合兵庫の女性メンバーを対象に DV 防止研修を実施し、10 名が参加。地域社会に支援の輪を広げるためにも非常によかった。今後も地域に研修を広げていきたい。

DV 被害者生活再建事業

1、WACCA の運営—女性やシングルマザーと子どもたちの居場所運営事業

- ① 女性やシングルマザーと子どもたちの居場所として、立ち上げた WACCA は 6 年目を迎え、開設当初より、参加者も多くなり事業の数も増加した。その結果のべ 4500 人を超える方たちが WACCA に来られた。

- ② NHK のハートネット TV 「平成がのこした宿題 5 子どもの貧困～連鎖をどう食いとめるか」(初回放送 2019 年 2 月 5 日(火)20:00～20:30)に取り上げられ、取材を受けた。
- ③ アイロンがけなどの就労準備支援は、少人数ながら週 3 回午前中実施した。延べ参加者数は 129 名であった。フリーヘルプとの協働事業では WACCA の利用者の中から就労希望者に向けて採用の道を探り、今年度 3 名が就労にむけて通っている。ミニ講座やフリースペースなどの参加者は述べ 373 名であった。
- ④ 子どもたちの学習支援は、WACCA 塾として、小学 1 年生から中学 3 年生まで毎週火水金の週 3 日 14 回 5 時から 8 時半まで実施した。現在、小学生 11 人、中学生 24 人が登録している。小学生 792 名 中学生 1352 名、延べ参加生徒数は 2144 名にもものぼる。ボランティア延べ 1172 名の協力を頂いた。3 月の受験時には 9 名の受験生が高校受験に挑み、全員が合格し高校への入学を果たした。3 月卒業時には卒業生のお祝い会も実施。同時に卒業前の性教育なども行った。
- また子どもたちとシングルマザーの体験事業として、親子クッキング、など様々な事業を実施した。特に、8 月の行われた 1 泊夏合宿では、日頃親子では体験できない自然のふれあいや、遊びなどを実施した。また母親にとっては夜遅くまでゆっくり語り合う等、大変好評であった。
- それらの事業は第 2 回子ども未来応援ネットワーク事業として採択され実施することができた。
- ⑤ 女性の学習支援の場「WACCA スクール」は継続して実施した。高卒認定を取るための学習や、定時制高校に通う女性の学習支援、資格を取るための学習相談の場として実施した。2 名が資格取得に合格。また以前高卒認定資格取得のため来られていたシングルマザーが専門学校への入学を果たしたと報告があった。就職や進学で、次の一步を踏み出すことになった。
- ⑥ シングルマザーカフェは月 1 回第 4 日曜に実施した。この会を通して女性たちが孤立感を解消し、信頼できる仲間を得ることは、生活再建に向けて非常に効果的である。特別なイベントとして、10 月には地元の商店街の協力も得て英語でハロウィン、12 月はクリスマス会、を開催。大人 85 名 子ども 81 名 ボランティア 6 日 8 名が参加し、母子ともにたくさんの笑顔が見られた。
- ⑦ 女性のための相談事業として、毎月 2 回女性相談、毎月 1 回キャリア相談、随時、生活相談や子育て相談を実施した。電話相談、面接相談の合計は 130 件
- ⑦ DV 被害者の自助グループとして、月 1 回、コスモスの会、オリーブの会を開催。同じ経験した仲間と悲しみや怒りを共有できることが、参加者の孤立感を解消し、仲間づくりへの 1 歩となっている。参加 50 人。

2、家庭訪問事業 (DV 被害女性自立支援活動委託事業)

神戸市の委託で、DV 被害者自立支援事業として、4 月～3 月で DV 離脱後の 5 世帯を月 2 回ずつ家庭訪問した。新たな地域で孤立しがちな单身女性や母子から、悩みを話せる人がいてとても心強いと言われた。精神的、経済的な問題について、必要があれば行政の担当者に繋ぐようにした。兵庫県も委託事業として、県内の 5 世帯の家庭訪問を月 2 回ずつ実施した。

3、「子ども元気ネットワーク関西」

フードバンク関西、フリーヘルプと協働で事業をたちあげ、支援を必要とする母子家庭に毎月1回食糧支援、3か月に1回衣類の支援を行なっている。繋がりのある母子家庭26世帯を対象としている。

2018年度 活動計算書(報告書)

2018年04月01日～2019年03月31日(決算)

NPO法人女性と子ども支援センターウイメンズネット・こうべ 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目		金額	
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	160,000		
賛助会員受取会費	524,000		
受取会費計		684,000	
受取寄付金			
受取寄付金	8,425,585		
受取寄付金計		8,425,585	
受取助成金等			
受取地方公共団体補助金	2,653,260		
受取地方公共団体助成金	50,000		
受取民間助成金	10,027,866		
受取助成金等計		12,731,126	
事業収益			
相談事業収益	66,080		
付添い支援事業収益	10,000		
女性の自助グループ開催支援事業収益	5,500		
緊急避難施設運営事業収益	3,519,000		
生活再建支援事業収益(WACCA)	92,350		
シングルマザー支援&仲間づくり講座事業収益	13,900		
デートDV防止出前事業収益	225,000		
デートDV防止啓発授業実施事業収益	3,012,026		
支援者養成講座開催事業収益	527,500		
人材育成事業収益	12,240		
WACCA塾事業収入	59,650		
福祉医療機構事業収入	20,500		
情報提供事業収益	211,946		
交流会開催事業収益	142,000		
事業収益計		7,917,692	
その他収益			
受取利息	54		
雑収益	108,420		
その他収益計		108,474	
経常収益合計			29,866,877
(2)経常費用			
事業費			
【人件費】			
役員報酬	1,800,000		
給料手当	6,691,294		
雑給	85,750		
法定福利費	439,544		
【人件費計】		9,016,588	
【その他費用】			
諸謝金	4,011,312		
旅費交通費	4,980,092		
会議費	107,473		
通信運搬費	567,220		
食材費	122,180		
消耗備品費	162,059		
消耗品費	582,300		
事務用品費	28,955		
新聞図書費	335,049		
研修費	4,000		
印刷製本費	1,423,872		

2018年度 活動計算書(報告書)

2018年04月01日～2019年03月31日(決算)

NPO法人女性と子ども支援センターウイメンズ'ネット・こうべ 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	金額	
会場費	36,620	
保険料	39,667	
水道光熱費	363,897	
支払地代家賃	3,752,760	
諸会費	10,000	
支払手数料	46,804	
雑費	107,446	
減価償却費	81,812	
【その他費用計】		16,763,518
事業費計		25,780,106
管理費		
【人件費】		
役員報酬	600,000	
給料手当	478,200	
法定福利費	140,096	
福利厚生費	150,877	
【人件費計】		1,369,173
【その他費用】		
旅費交通費	181,290	
会議費	8,669	
交際費	10,000	
通信運搬費	124,614	
消耗備品費	382,400	
消耗品費	122,049	
事務用品費	136,335	
新聞図書費	4,000	
研修費	145,175	
印刷製本費	54,000	
保険料	42,500	
水道光熱費	112,662	
諸会費	68,000	
支払手数料	133,836	
租税公課	342,300	
雑費	40,000	
減価償却費	56,699	
【その他費用計】		1,964,529
管理費計		3,333,702
経常費用合計		29,113,808
当期経常増減額		753,069
2.経常外増減の部		
(1)経常外収益		
経常外収益合計		0
(2)経常外費用		
助成金返還損	1,565,344	
経常外費用合計		1,565,344
当期経常外増減額		-1,565,344
税引前当期正味財産増減額		-812,275
法人税、住民税及び事業税	122,000	
当期正味財産増減額		-934,275
前期繰越正味財産額		15,366,032
次期繰越正味財産額		14,431,757

2018年度 貸借対照表 (2019年3月31日現在)

NPO法人女性と子ども支援センターウイメンズネット・こうべ 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	11,212	未払金	858,850
普通預金	11,272,156	前受金	2,423,500
未収金	4,417,110	預り金	234,730
前払金	300,000	流動負債合計	3,517,080
貸付金	203,000	固定負債	
流動資産合計	16,203,478	固定負債合計	0
固定資産		負債合計	3,517,080
建物	1,271,493	正味財産の部	
建物付属設備	281,865	前期繰越正味財産	15,366,032
什器備品	1	当期正味財産増減額	-934,275
保証金	192,000	正味財産合計	14,431,757
固定資産合計	1,745,359		
資産合計	17,948,837	負債及び正味財産合計	17,948,837